

株式会社ウッドテック秋富

Pick Up!

平成28年度

事業計画名

良質の木製内装品を効率生産、子育て教育施設に販路を広げ少子化に歯止め

概要

少子高齢化による社会構造の変化に対応。

高周波フラッシュ接着機を導入し、デザイン性・機能性に富んだフラッシュ構造の建具や家具を効率的に生産することで、教育・保育施設への販路を広げる。

分類

＜対象類型＞ 革新的サービス

＜事業類型＞ 一般型

成果

高周波フラッシュ接着機を導入したことで、芯材に圧迫痕の見られない良質製品を製造。製造時間も大きく短縮された。

機器の特性を最適に活かせるよう加熱時間、電流値、養生時間を調整しデータの収集を図っている。



高周波フラッシュ接着機



パネルソー



加工を待つ原材料



Homag (ホマッグ) 社製: CNCマシニングセンター



Weinig (ヴァイニッヒ) 社製: ユニバー



Weinig (ヴァイニッヒ) 社製: ユニテック

世界最先端の設備が稼働

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社ウッドテック秋富（上田市）

「木」の新たな可能性を追求し、
伝統の技と最先端の加工技術で時代のニーズに応える。

「アキフフェンスター」で全国展開

木製建具、オーダー家具、木製サッシを3本柱に、伝統的な木工技術を活かしたものづくりにこだわる、ウッドテック秋富。

1902（明治35）年創業の秋山木工所と、1946（昭和21）年創業の富国木工の業務を統合し、1993（平成5）年に設立。伝統技術を受け継ぐ一方で、最新鋭のNC加工機や木製サッシ専用機など設備投資も積極的に行い、生産性向上に取り組んでいます。また、ものづくりに魅力を感じる若手社員の採用・育成にも力を入れ、若き職人たちが活躍。技能五輪全国大会では金・銀・銅の受賞者も輩出しています。

98年には、欧米では主流の木製サッシの製造をスタート。自社ブランド「アキフフェンスター」で現在、国内木製サッシメーカー3指に入る実績を誇っています。さらに量販店内テナント工事等で騒音対策として使う遮音木製サッシや、火災時の人命救助に優れる木製防火戸（特定防火設備認定取得）の製造にも力を入れています。

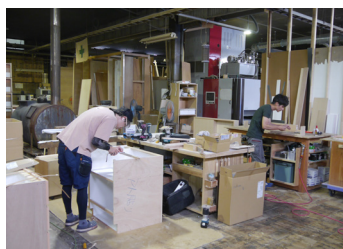
「こういう業界で生き延びていくためには、人がやらないことをやらないとだめ」と、太田幸雄社長。将来的には、木製サッシ、木製防火戸、遮音木製サッシを同社の主事業にしていこう計画です。



木製サッシ「アキフフェンスター」

高周波フラッシュ接着機で生産性向上

環境への関心の高まりから、住環境にも自然素材を取り入れたいというニーズが増加。特に学校、病院などの公共施設で、木製建具・家具を導入する動きが活発化しています。



若い木工技術者が目立つ工場内

同社ではこれに応え「フラッシュパネル」の製造を強化。高周波フラッシュ接着機の導入によりプレス工程を改善し、生産性向上を図りました（平成28年

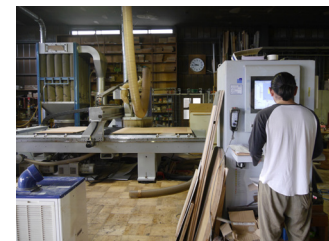
度補正ものづくり補助金活用)。フラッシュパネルは、木枠に合板などを上下から貼り合わせた中空のボード。軽量、高品質、木材資源の有効活用などメリットも多く、公共施設での利用には最適です。

「高周波フラッシュ接着機は、従来のプレス機では数時間かかっていた接着が40～60秒程度で完了。接着剤の半乾きがなく、木の水分を飛ばすので狂いが少ない。さらに速乾性の接着剤が不要なので、作業者が有機溶剤を吸い込む健康被害も抑えられる。夢のプレス機です」。

同社が今取り組むのは、腐らない木の開発。特殊な塗料を含浸させ、さらに塗装を施すことで、素材の風合いを半永久的に保つことができる画期的な技術です。「水をまったく寄せつけず、表面を擦ってもキズがつかない。これが完成すれば、木の革命」と太田社長は力を込め、こう続けます。



高周波フラッシュ接着機と作業中のスタッフ



最新鋭のNC加工機が稼働

「木製サッシは本当に良いもの。多くの住宅に使ってもらえるよう、信州産などの自然素材を使い、安く提供したい。この木の完成により、木製サッシメーカーとしてさらなる飛躍を目指しています」。



株式会社ウッドテック秋富

代表 代表取締役社長 太田 幸雄
設立 1993（平成5）年7月
従業員数 39名
資本金 1,000万円
本社 上田市芳田1052



TEL.0268-71-5611 FAX.0268-71-5477

事業内容 木製建具・家具製造販売

<http://www.akifu.com>